

## ■ 広帯域 FWA（帯域占有型）

1999年（平成11年）

1998年末に、準ミリ波帯・ミリ波帯(22/26/38GHz帯)の周波数が無線アクセスシステム用に開放されたのを受け、広帯域なアクセス回線を迅速かつ安価に提供できるソリューションの一つとして、準ミリ波帯を用いた帯域占有型の広帯域 FWA を開発し、2000年にサービスを開始しました。

本システムには、大別して、お客様ビルと無線基地局の間を1対1で結ぶP-P(Point to Point)システム(図1)と、複数のお客様ビルを1つの無線基地局にまとめて収容するP-MP(Point to Multipoint)システム(図2)があります。各無線装置は、屋外に設置されるアンテナおよびODU(Outdoor Unit)と、屋内に設置されるIDU(Indoor Unit)からなります。装置諸元は、ARIB((社)電波産業会)標準に準拠しています。

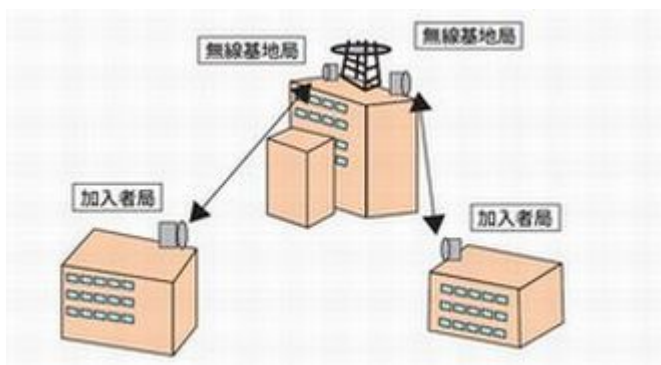


図1 P-P方式の適用イメージ

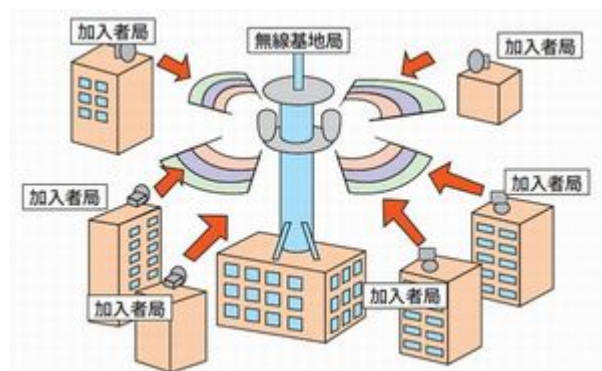


図2 P-MP方式の適用イメージ